

フローサイン-2 (FS-02) 保守点検報告書

製造番号		実施年月日	年 月 日
購入年月日		実施者(臨床工学技士)氏名:	
院内の管理番号		総合判定	(合格 ・ 再点検 ・ 不合格)

点検異常時は、下記※番号にて処置・修理のこと
 ※1:臨床工学技士様、※2:(株)アイム、※3:本体入れ替え

大区分	中区分	点検事項	項目判定
1. 外観確認	・本体及び取り付けアーム類の破損		(○・×)
	・本体ケースの隙間・開き	・機能に影響するキズ・割れ・隙間開きの発生 ※2・※3	(○・×)
	・本体側機能部品の確認		(○・×)
	・薬液等の付着、固着、汚れ	・薬液など内部に浸入した痕跡のある場合は分解確認 ※2・※3 ・汚れ等は適切に拭き取ること ※1	(○・×)
	・電池カバーの破損 (内部の分解確認の必要性を判断)	・電池カバーの破損がないこと、不具合時は交換 ※1	(○・×)
	・電池ケース内の汚れ、電池パネの損傷等 (内部の分解確認の必要性を判断)	・電池パネの変形、電池の漏液、錆がないこと ※2・※3 ・電池漏液の付着がないこと ※2・※3	(○・×)
2. 電気機能確認	・ランプ類(輸液・報知)の表示状態	・電源投入時のランプ(輸液・報知)の点灯、液晶表示の文字パターンに異常がないか確認 ※2・※3	(○・×)
	・液晶、バックライトの表示状態		(○・×)
	・ブザー音(切り替わり)	・電源投入時にブザー音が鳴り、音量切り替えができることを確認 ※2・※3	(○・×)
	・各スイッチの動作	・各スイッチの切り替えが節度よく行えること ※2・※3	(○・×)
3. 電池残量表示確認	・電池残量表示の確認 (2.4V以下の電池セットで報知を確認)	・使用済みの電池で、2.4V以下の電池セットを使用し、電源スイッチを入れた後、5秒後に表示する残量報知を確認 ※2・※3	(○・×)
4. 性能確認	・点滴と輸液ランプの動作一致性確認 (落滴検知機能の確認)	・20滴輸液セットを使用し、60mL/Hの速度で点滴動作を行い、30滴の落滴と輸液ランプの点滅が同期している	(○・×)
5. 報知機能確認	・An1、An2アナウンスのテスト	点滴中に、①点滴筒を前に引き出し・戻すことにより、An1の報知・解除ができること ※2・※3 ②点滴筒とセンサー間に、紙を差し込み・戻すことにより、An2の報知・解除ができること ※2・※3	(○・×)
	・時間モードにおける予定量でのEnd確認	・20滴輸液セットを使用し、予定量50mL、速度500mL/Hで、6分後にEnd表示と報知音が動作すること ※2・※3	(○・×)
6. メカ的機能確認	・チューブドアの動作確認	・チューブドアが手動でスムーズに「開」となること※1※2	(○・×)
	・点滴筒ホルダーの機能	・点滴筒を固定する機能の異常(折れ) ※2	(○・×)
	・モーター異音確認	・モーター動作時の異常音 ※2	(○・×)
7. 内部確認	内部への剤・液の侵入の可能性による。 ・防水スポンジ・点滴筒ホルダーの状態	内部確認のご要請がある場合に憚アイムで行わせて頂きます。	(○・×)
	・基板の汚損。	・防水スポンジ、基板交換が汚損の場合 → ※2・※3	(○・×)

※点滴動作を点検される場合には、チューブに針を装着し、約30cm程度の深さのPETボトルの底に針を沈ませた状態で実施ください(人体装着状態に合わせ、誤動作を無くするため)